

かしの木

桜町聖ヨハネホーム 開設25周年特別号

第48号

2011年10月号

発行 さくらまち高齢者福祉事業
かしの木編集委員会

〒184-0005

東京都小金井市桜町1-2-24

電話 042-381-1234



↑
聖ヨハネ会
シンボルマークと“鐘”

←桜町聖ヨハネホーム
建物近景

桜町聖ヨハネホーム 開設25周年にあたって

平成17年（2005）に20年を迎えることができましたと、この場でお礼を申し上げてはや5年、特別養護老人ホーム桜町聖ヨハネホームは25才になりました。一人前の施設としての評価を頂けるのには、多くの方々のご支援とご協力があったることと心から感謝いたします。

また一方 職員の方々の、利用者お一人、お一人の、その方らしさを大切に作る心と、聖ヨハネ会のいずれの施設でも大切に引き継いできている「病める人、苦しむ人、弱い立場にある方に奉仕する」精神が、各職員の努力と相俟って、聖ヨハネホームを居心地のよ

社会福祉法人 聖ヨハネ会
理事長 渡邊 元子



いものに育ててきたと云えるのではないかと思います。

避けて通れない超高齢

化社会の厳しい現実の中であって、ホームがより役立つ存在であり続けるためには、常に社会の動向を見つめ、聖ヨハネ会の福祉事業医療、高齢、障害の3本柱が手を携えて歩む時により力を発揮できるのではないのでしょうか。

これからの時代の高齢者のあり方に伴うホームの変化も「時のしるし」として対応する勇気が必要と思います。今後ともご協力をよろしく願いたします。

開設10年...20年...
桜町聖ヨハネホームの歩みとともに
増築・改修・設備拡充されました!
(抜粋)

桜町聖ヨハネホーム



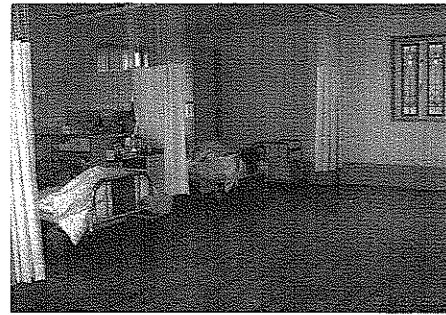
2001 緊急ショートステイ室増床



2002 喫茶室リリー開設(玄関)



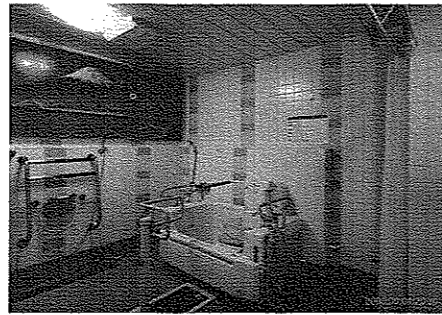
2006 デイルーム拡張(1F)



2006 4人室増築(2F)



2006 ピロティ(2F 4人室1F部分)



2008 個浴室・浴室改修(1.2F)

『開設25周年からの役割』

よくホームの玄関を入るとホッとすると
言われることがあります。そして中には
「気持ちが暖かく優しくなる」と言っ
てもらえます。何がそのような気持ち
にさせてくれるのでしょうか。

私たち桜町聖ヨハネホームは、1986年4月1日
産声をあげました。開設時は措置制度による入
所者の受け入れ施設、「特別養護老人ホーム」で入
所者100名の施設でした。1988年に3床の小金
井市ショートステイ事業、1990年に8床と増床
し、小金井市での在宅サービスの一翼を小さく担
い始めました。そして、2000年には高齢福祉に
対する国民の期待、国の政策、財政問題などにより
制度が変更され、介護保険制度により経営され
る「介護老人福祉施設」へと、時代の要請に応え
つつその役割と機能を変容してきました。

開設した25年前は「入所者のため」にあった。

園長 石山 裕明



2012年からは「地域包括ケアシ
ステム」構想に基づく制度が始
動します。そこでは、健康な高齢者からターミ
ナル期の高齢者までを支える社会資源の一つとして、
地域の介護、医療の事業所全体のネットワークに
より高齢者を支えるシステムの中でその役割を担
うことが求められています。

「地域のためにある施設」としての役割が強く
求められてきます。

「気持ちが暖かく優しくなる」場所。それはそ
こに集う利用者、職員、ボランティアを含むすべ
ての人の優しさや寄り添う心がこういう場所を創
るのだと思います。私たちの理念である「隣人愛」
「相互愛」を基本とした「ヨハネらしさ」の実践
により、これからもホームの玄関を訪れる地域の
人々をホッとさせ、気持ち暖かく優しくなっ
てもらえるよう力を尽くしていく所存です。

昔...なつかしい思い出の
アルバム!

パトタッチ I

No.3 新年演芸会・カラオケ大会



No.1 中庭



No.2 出張寿司



過ぎし日のスナップ

- No.1 中庭で寛ぐご利用者の皆様(足腰ご丈夫です!)
- No.2 ご利用者にも職員にも人気の“寿司藤”板前さんの出張寿司、語り草の行事でした。
- No.3 盛大な新年演芸会。ご利用者の皆様も舞台上に上がって本格的カラオケ大会でした。
- No.4 下の写真は、文化祭行事のスナップで、館内各所で催し物が行われ、さらに高齢者センターの文化祭にも相互参加できる行事でした。この他、写真にはありませんが、一泊旅行、納涼祭、バラ園ハイク、梅見、お花見、流しそうめん、お月見、運動会、お餅つきなど...ありました。

No.4 文化祭...館内の様子



『創立25周年を顧みて』

創立25周年を寿ぎ神に深甚の感謝をいたして
おります。落成祝別式の時、今は亡き二師の訓
話は「施設の存在価値は立派な建物ではない。愛
という心の込められた『ほんもの』でなければ
ならない。各人の心の深み(魂)に愛を宿し、その
愛(土台)に根ざした生き方が肝要」真の愛に裏
打ちされた施設運営こそ価値があるということ
でしょう。25年の歳月を経て事業の協働者(アソ
シエイト)とパートナーシップが育ち連帯と協働
の絆に結ばれて何よりも喜ばしことです。ボン・

顧問(前園長) Sr. 相松 幸子
サマリタンサービスの企画も早
期に実現されますように。

本会が大切にしてきた理念、良
きサマリア人の愛に溢れた隣人
愛は相手の存在を「あなたが大切」という豊かな
愛へ私たちが招いています。他者の幸せを願う心
はかけがえのない宝です。神はそのような人を祝
福し、真の幸せの道いのちの歩みへ導いてくださ
ると信じています。聖ヨハネホームが神の光により
より輝くものとなりますように祈りをこめて。



桜町聖ヨハネホーム バトンタッチⅡ

小田代主任からのバトン

介護部主任 三ヶ部女久美

今春、18年間介護部主任を務められた小田代主任の後を引継がせていただきました。

小田代主任は、ホームの開設当初から今に至るまで、いつも変わらぬお姿、丁寧な立居振舞いでどなたにでも接していたので、特に利用者の方々は、安心した表情を浮かべていらっしゃいました。

一方で、変わりゆく制度と時流の求めに応じて常に学びの姿勢を失わず、本質に関わる変えてはいけないものと柔軟な対応とを識別して実践に努めていらっしゃいました。

特に、認知症指導者として後進のための貢献を惜まず、蒔かれた種は、今一粒ずつ根を下していると思います。

今後利用者の方々は、人生の最終ステージをホームで過ごされようとする弱い方々と、心身ともに認知症状が重度化し、動きやリスクの高い方々との両極化が進むと見込まれます。その方々に、より適切なケアを提供できるよう、ヨハネホームの理念が日々の介護を通して見える形として実現することを目指して皆で協力して歩を重ねていきたいと存じます。



毎年恒例、小金井公園お花見

勤続25年の歩み

前介護部主任 小田代 陽子

私は、この4月、25年1ヶ月の勤務を終え、ヨハネホームを退職しました。

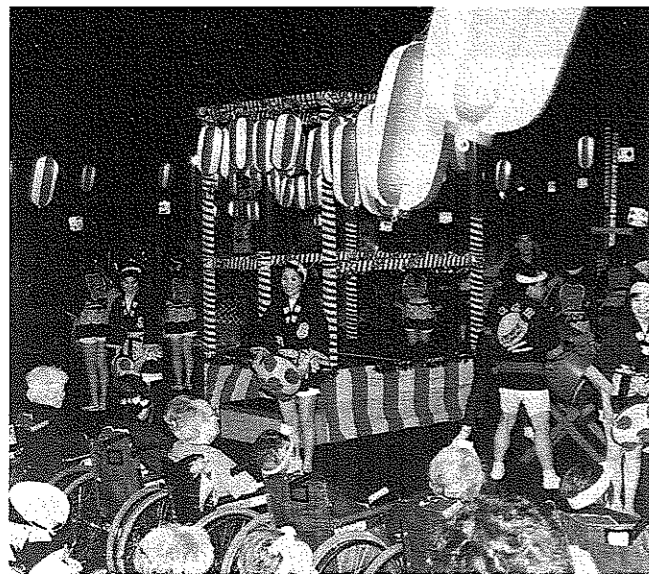
思い起こしますと、昭和61年3月末日、4月からの入所に備え、あわただしくしている職員通用口に立っていたことが、つ

いこの間の事のように。

何の資格も持たずに仕事に付き、ヨハネホームの愛の精神・経験豊かな人生の先輩達・同僚・家族等の支えで、育てられたと思います。介護福祉士は、平成2年に取得し、平成5年より主任業務を受け、この3月まで担いました。

この間、平成12年に介護保険制度が施行になり、措置から保険制度へと大きな変化でした。それに伴い、社会福祉士・介護支援専門員と資格を取得しました。

様々な出来事やあの方、この方の顔が浮かんできますが、利用者さんの笑顔が一番です。笑顔が明日への原動力になっていました。今は、ただ感謝です。



地域の皆様との交流の場、納涼祭（昨年度まで）

《さくらまち高齢者福祉事業》 基本理念

1. キリストの教えに示された愛、自由、正義、平和、連帯の実現に努め、地域社会に立脚した事業として高齢社会における地域福祉の拠点となることに努める。
2. 永遠の生命を有する人間性を尊重し、病める人、苦しむ人、弱い立場の人々に仕え、キリストの教えに示された相互愛の実践により聖ヨハネ会創立の精神を実現すべく努める。
3. 一人ひとりの生と死の尊厳を尊重し、生活の質を高め、真の兄弟姉妹としてのかかわりの中に共に生きることに実践に努める。



足湯…午後ひととき、ポカポカゆったり



握手で、こんにちは…しんあい保育園園児さんと交流



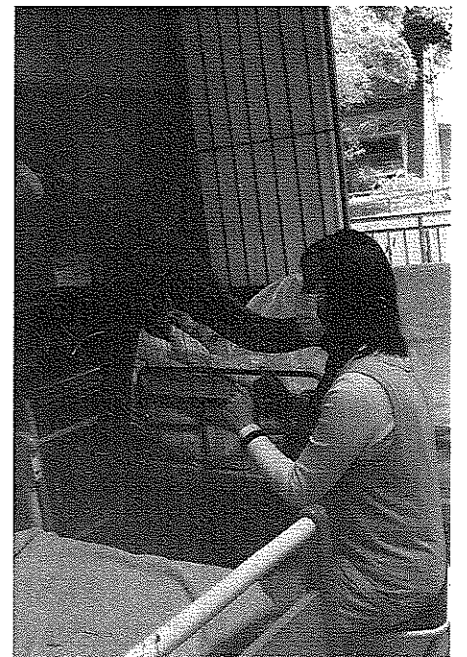
アニマルセラピー…犬、猫に触れて癒される



小金井緑中学校 弦楽クラブの生徒さんのすばらしい演奏



高橋邸訪問…一般のご家庭で寛ぐ

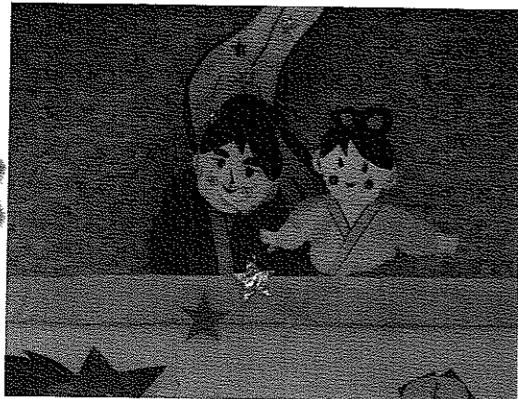


ベットサイドで、ハーブの調べを…

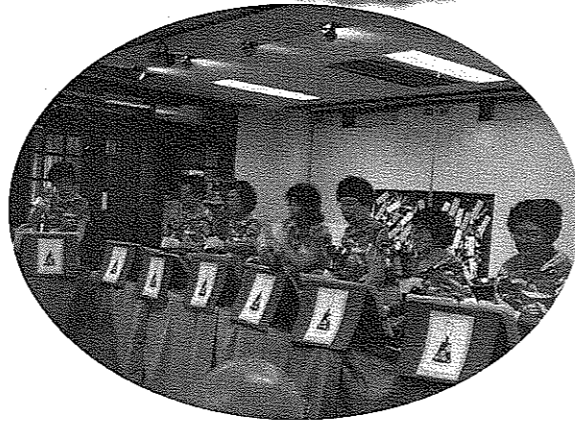
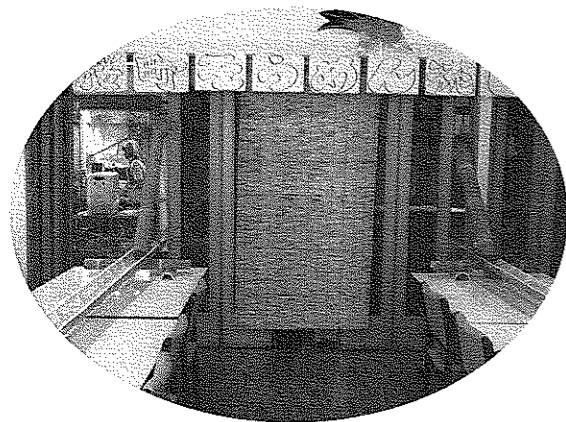
桜町高齢者在宅サービスセンター

桜町センター行事報告

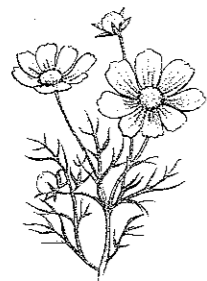
デイサービスでは七夕の行事として流しソーメンを行いました。



ハンドベルの美しい音色



桜町センターにマリア・テレジアキッチン(第2厨房)OPEN!!



桜町聖ヨハネホーム開設25周年にあたって —桜町高齢者在宅サービスセンター開設21周年—

『開設25周年を迎えて』

2011年10月1日付で桜町高齢者在宅サービスセンター長に就任致しました。皆様の協力を得て、心を込めてヨハネ会の高齢者福祉に取り組んでいく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、私達の桜町聖ヨハネホームが創立して25年が経ちました。創設の時、故ムニ神父様から、シスターに特別養護老人ホーム新設についてぜひ進めるようにお話がありました。シスター達は法人の桜町病院や富士聖ヨハネ学園を抱えながら、新しい仕事に不安もお有りだったようですが、ムニ神父様を介しての『キリストの声』に思いをめぐらし、高齢者福祉のこの仕事をスタートされたと聞いております。

ムニ神父様とシスター方の勇気と従順がなければ、今のヨハネホームとセンターの姿はなかったことでしょう。また、これまでに実に多くの皆様のご協力と祈りにより支えられてまいりました。そして、このホームの尊い仕事は職員一人一人とその家族の愛と犠牲によって成り立っている事も感じております。

この25年をイエス様に感謝致しますとともに、再び創立の精神に立ち返り、皆様と『キリストを土台』にした、しっかりしたホームを築いていきたいと思っております。



桜町高齢者在宅サービスセンター長
兼務桜町聖ヨハネホーム副園長

藤井 律治



『ホームとの思い出』

私は、桜町聖ヨハネホームが開設以来25年間、残り少ない1期生としてまた、ヨハネの一員として共に歩んできました。入職当時は23歳だった若者も、現在は48歳の中年のおっさんでございます。



認知症対応型デイサービス主任
森田 千積

ヨハネホーム開設後5年間、介護員としてお世話になったのですが、当時は現在に比べると、比較的元気な方々がホームで生活されており、年間を通して様々な行事企画や旅行があったものです。特に「出張お寿司」では美味しそうなお寿司を召し上がる表情が非常に印象に残っています。また、当時23歳の若僧に人生の大先輩達は「礼儀」や「常識」「人を思いやる心」を教えてくださいました。

このようなホームでの入所者の皆様との関わりが、現在の私のモットーである「明るく！楽しく！元気よく！」の原点だったと感じます。

長年介護の仕事をして学んだ事は、今も昔も利用者の皆様が職員一人一人の対応や接し方をよく見ているということです。ヨハネと共に歩んだ今後の私自身の役目として、ご利用者・ご家族の立場になって考え、安心感を持っていただける職員の育成に努めていきたいと思っております。



入職のころ

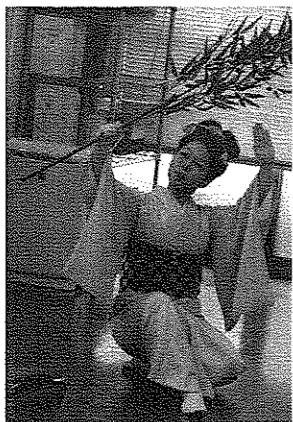


本町センターには6台の送迎車をご用意しております。運転手さんも3名おり、皆素敵な笑顔の運転手さんです。安心して安全な運転を皆で心がけております。



長生会という町内会の皆さんが敬老のお祝いを兼ねて交流会に来て下さいます。楽しい踊りやカラオケをご披露して下さいます。

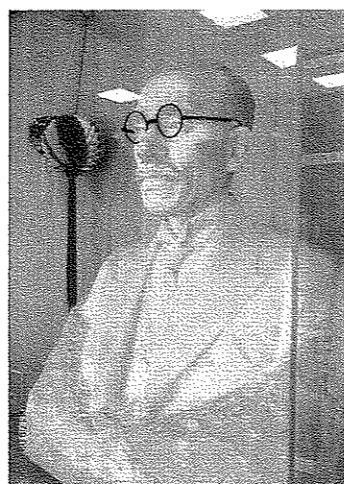
日舞は普段のデイサービスの活動にあります。先生がお弟子さんを連れていらして下さいます。とても綺麗で優雅な踊りを見せて下さいます。



保育園の園児さんとの交流会があります。いつもセンターへ来て下さって、可愛い歌や踊りを見せて下さいます。そのお礼で紙芝居を保育園で発表させてもらいます。



1998年に本町高齢者在宅サービスセンターは開設されました。井田氏が市に土地を寄付して下さい、井田氏のご意思により福祉施設が建てられました。ヨハネ会はその意思を受け継ぎ、デイサービスの運営を任せられました。井田氏は今も胸像として本町高齢者在宅サービスセンターの玄関で私たちを見守って下さっています。



レクリエーション活動

午前中は体操を主に午後はパターゴルフなどゲームや華道などの趣味活動を行っています。

食の自立支援活動

小金井市より依頼を受けたお一人暮らしの高齢者の方に夕方お弁当をお配りしております。



在宅サービスセンター

『本町センター開設13周年を迎えて』

「就任のご挨拶」

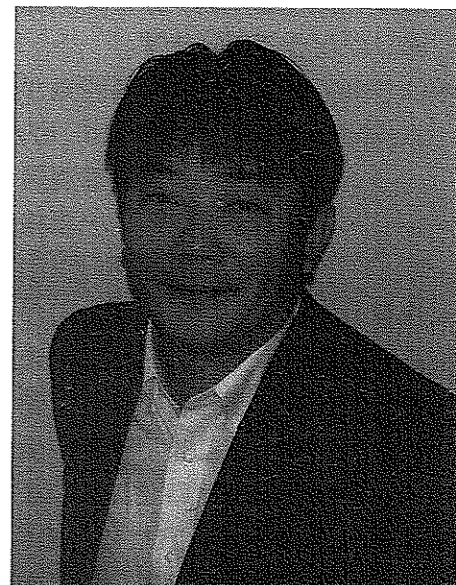
小金井市立本町高齢者在宅サービスセンター
センター長 山極 愛郎

本町高齢者在宅サービスセンターに本年度より着任し、本年10月よりセンター長を務めさせていただくこととなりました。

自分は大学を卒業後、20数年来ソーシャルワーカーや生活相談員、介護支援専門員などの仕事に携わり高齢者と家族の皆様の在宅生活を支援して参りました。

このような仕事に就いて久しい私が、人生の中盤期に聖ヨハネ会の門を叩かせていただいた理由は、聖ヨハネ会が、社会情勢めまぐるしい価値観多様なこの国で、いまなお創設当初に掲げた理念からぶれることなく着実に福祉の道を歩んでいるからです。

制度改正期を迎えるこんにち、聖ヨハネ会の福祉に対する期待はますます高まってゆくことでしょう。聖ヨハネ会を支えてきた多くの方々、そして、いまなお支えている皆様の姿勢とご尽力に敬意を払い、自分もまた一助となれるようこれから頑張りたいと存じます。どうぞ宜しくご指導のほどお願いいたします。



「デイサービスの思い出」

本町高齢者在宅サービスセンター
副主任 吉田 貴夫

2003年に桜町高齢者在宅サービスセンターに配属され、2007年に本町高齢者在宅サービスセンターへ移動。デイサービスの仕事を続けて9年となりました。振り返ると、デイサービスにて神代植物園バラ園散策にご利用者様と出掛けたことや、クリスマス会で寸劇やデュエットしたことなど、沢山の大切な思い出が詰まっているのを実感致します。その思い出一つ一つに登場される多くのご利用者様との出会い、そして、その方の笑顔に触れさせて頂いたこと。これが私の一番の思い出であり、宝であります。デイサービスには様々な疾患を抱えている方がご利用されます。その痛みや不安を一時でも忘れ、楽しく充実した時間を持てる。そして帰る時には笑顔をお土産としてお渡し出来る。そんなデイサービスをこれからも目指し、実現したいと思います。

行事

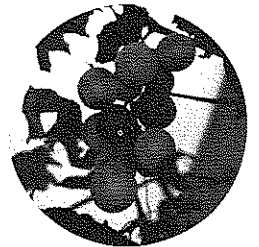


綺麗なバラを皆で愛でました。



サンタで登場!プレゼントを皆様に受け取って頂きました。

ボランティアの皆様より 開設25周年記念 メッセージ



園芸ボランティアさんが丹精込めて作られた“ぶどう”

25周年おめでとうございます。

*いつも調理室のボランティアをさせていただきありがとうございます。

*いつ来てもあたたかい雰囲気を感じられるホーム、皆様のお力だと思えます。がんばって下さい。

調理室清掃 多摩友の会
小暮様 長谷部様より

*作業台を椅子式のテーブルにかえていただけたことをありがたくおもっています。

*自分がかかなり高齢者になり、動作もてきぱき出来ませんが、ここまで来て、少しでも役に立っているかと思うと幸せに思います。

*集まって作業する方たちとの何気ない会話が、その時々時代の背景などにも及び、良い学びをさせていただいています。

洗濯たたみ 吉祥寺教会
島田様 熊倉様 鈴木様より

以前の座る作業から椅子に移り、作業が非常にやり易くなりました。作業の合間の皆様の会話も、とても参考になり、自身のこれからの指針になり、日々勉強だと思っています。

洗濯たたみ 高円寺教会ぶどうの会 佐々木様より

25周年記念おめでとうございます。

ホームの歩みと共に高齢の皆様を笑顔にいたしながら、活動できました事、喜ばしいことと存じます。今後も職員の皆様と上手に活動が進められればよろしいかと心から念じております。

生花サークル 栗田様 坂本様 西村様
羽生様 町田様より

2010年7月に実習生として、聖ヨハネホームにお世話になりました。ご縁で週に1回「おふろのボランティア」をしています。入浴が終わり、髪の毛をドライヤーで乾かし、ブラシをかけます。足の指の間も乾かして靴下、靴を履く手伝いをしています。その合間に利用者さんとの会話があります。週に1度ですが、次の週に利用者のお元気な姿に接することができ喜びを感じております。

入浴援助補助（ドライヤーかけ）

松井様より

ボランティアの皆様、
絶え間ないお力添え、ほんとうに
ありがとうございます。

今後の予定

- ヨハネホーム -
- 10月 桜町聖ヨハネ祭（教会・病院・福祉事業部門合同）
衣類販売会
- 11月 文化の日 音楽サークル発表会
- 12月 クリスマス
- 桜町センター -
- 11月11日 介護の日合同相談会（きた地域包括支援センター）
- 11月19日 認知症サポーター養成講座（きた地域包括支援センター）
- 11月 文化祭（桜町デイサービス）
- 12月 クリスマス会（桜町デイサービス）
- 1月 新年会（桜町デイサービス）
- 本町センター -
- 10月 運動会
- 11月 文化祭
- 12月 クリスマス会
- * 月1回 いっぱくカフェ

編集後記

桜町聖ヨハネホームが開設されてから25周年を迎えました。ヨハネホームとほぼ同時期に開設した桜町高齢者在宅サービスセンターには、開設当時頃より続けてご利用されている方がいらっしゃいます。およそ20年経った今でも在宅で過ごされているのですから、これは本当に凄い事であります。私達ヨハネホームはまだまだ25年。これからもご利用者様、ご家族様、ボランティアの方々よりご指導を頂きながら、より良いサービスを目指して頑張りたいと思います。（T・Y）

編集委員長 中條 洋子（桜町聖ヨハネホーム）
編集委員 中野紗綾香（桜町センター）
" 吉田 貴夫（本町センター）

